

科目名 (Eng)		コミュニケーション論入門(Introduction to Communication Science)							
担当教員		松江 俊一							
対象学年等	学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
	コミュニケーション情報学科	1	通年	必修	2	(60)	専門	B	
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(F-1)、(F-2)。 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：6)。 JABEE基準1(1)との対応：								
授業の概要と方針	コミュニケーション学の基礎となる要約力、論理的な記述・発話能力を養うためのトレーニングを行う。コンピュータを用いたコミュニケーションの基礎を学ぶ。								
到達目標	①和文タイプを100字／1分間（漢字含有率約30%）を入力できる。 ②英文60words／1分間（約250字）を入力できる。 ③新聞等を読み、内容についての的確に要約・コメントできる。 ④情報検定3級程度の機器操作ができる。								
授業計画									
	週	授業項目	理解すべき内容					事前学習	
前期	1	イントロダクション	授業目標の把握、高専生活について考える						
	2	イントロダクション(2)	勉強の進め方、将来の進路を考える						
	3	和文タイピング、Excel 1	入力の基礎、sum関数、average関数						
	4	基本構文力(1)	文章の並べ替え・結合、メモの取り方						
	5	和文タイピング、Excel 2	相対参照、絶対参照						
	6	基本構文力(2)	文章のねじれを直す、ブラウジング、読書法					タイピング練習は毎日行うこと。	
	7	和文タイピング、Excel 3	if関数(1)						
	8	要約力(1)	場面の説明、文章の要約、音読の重要性						
	9	和文タイピング、Excel 4	if関数(2)						
	10	要約力(2)	劇画の要約、暗記の重要性						
	11	言葉の時間間隔	意味の含有率、手書きの重要性					Excelの復習はその週のうちに必ず行うこと。	
	12	和文タイピング、Excel 5	グラフ作成(1)						
	13	和文タイピング、Excel 6	グラフ作成(2)						
	14	総合演習	前期の総まとめ						
	後期	15	前期学習したことの総括	前期期末試験解答用紙の返却と解説					
16		英文タイピング、Excel 7	データベース(1)					日本語ドリルは自分で問題を作って取り組むこと。	
17		図化・文章化の往復運動 1	図を文章で説明する。日誌の重要性						
18		英文タイピング、Excel 8	データベース(2) 基本的なショートカットキー						
19		図化・文章化の往復運動 2	説明文を相關図にする						
20		英文タイピング、Excel 8	データベース関数(1)						
21		図化・文章化の往復運動 3	新聞記事を図で示す						
22		英文タイピング、Excel 9	データベース関数(2)						
23		後期中間試験(実技)	実技試験を授業中に実施する。					授業メモをもとに自作のノートを作ること。	
24		モードチェンジ力 1	大人モードとこどもモード						
25		英文タイピング、Excel 10	LOOKUP関数(1)						
26		モードチェンジ力 2	話し言葉と書き言葉のモードチェンジ						
27		英文タイピング、Excel 11	LOOKUP関数(2)、INDEX関数						
28		モードチェンジ力 3	命令モードとお願いモード						
29		総合演習	後期の総まとめ						
30		後期学習したことの総括	後期期末試験解答用紙の返却と解説						
試験について	中間試験は共通科目試験日に50分間の試験を実施する。期末試験は50分の試験を実施する。 再試験受験の条件：全ての課題を所定の日時まで提出してあること。								
評価方法	定期試験（実技試験も含む）40%、授業メモ・小テスト・課題等60%で評価する。								
教科書	『30時間でマスターExcel 2010』実教出版								
参考書	『実践！日本語ドリル』齋藤孝著、宝島社 『コミュニケーション力』齋藤孝著、岩波書店 他								
関連科目	情報基礎、日本語1・2、コミュニケーション論								
履修上の注意	復習・宿題を毎回やり終えてから授業の臨むこと。								